

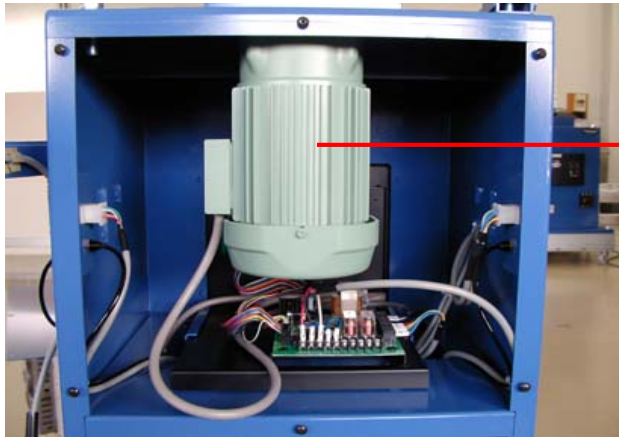
“OL-1”確認項目及び対処方法

“OL-1”はモーター過電流・焼損保護を目的としています。
“OL-1”で停止した時は、下記の項目を御確認下さい。

①モーター温度の確認

OL-1停止時モーターの温度を確認して下さい。

SR-W30～250の場合、本体裏カバーを外して確認してください。

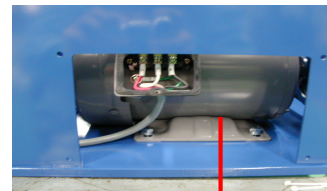


駆動モーター
この部分の温度を確認

SR-W500～W2000の場合、テーブル下部のモーター点検窓を開けて確認してください。



点検窓(カバーを開ける)



駆動モーター
端子箱は開けないこと

モーターの温度は、手でさわれる範囲内の温度であれば問題はありません。

手でさわれない場合は、温度計等で確認してください。

モーターの耐熱温度は120℃(E種を使用)です。(やけどの危険がありますのでご注意下さい)

温度が異常に高い場合(80℃を超えているような場合)は、運転を停止し、
負荷(材料)を降ろし、駆動部(回転部)に異常がないか確認してください。
(ギア部への異物の噛み込・巻き込み、ベアリング等の損傷)

確認事項及び対処方法

②電流値の確認

- ①モーター温度を確認した後、問題がなければ再度運転を行い、実際の運転時の電流値を確認してください。

W30～W250



FUNC/DATAキーを一回押す

W500～W2000



FUNC/DATAキーを一回押す

数値表示が電流値表示に切り替わります。運転時の一番大きな数値を確認してください。

各機種の子電子サーマル電流設定値(F11)及び検出時間(F12)の値は下記の通りです。

機種	電流設定値(F11)	検出時間(F12)
W30	0.53	5
W70	0.91	5
W150	1.74	5
W250	3.2	5
W500	3.6	5
W1000	6.1	5
W2000	9.2	5

単位:A

単位:min

運転時の電流値が、上記設定値を超えているか確認してください。

超えている場合(5分以上超え続けた場合)、駆動部を確認してください。

起動・停止時に一瞬設定値を超える場合がありますが、その場合は問題ありません。

(回転部の損傷、モーター・減速機の故障等が考えられます。)

運転時の電流値が、F11設定値を超えていない場合でも“OL-1”を検出し停止することがあります。

運転周波数が、5Hz以下の場合には設定値の75%、7Hz以下の場合には設定値の85%で“OL-1”を検出します。(低回転・連続運転)

上記条件で運転する場合モーターの冷却効果が期待できない可能性があります。

モーターの温度を確認し、問題がなければ、F12の値を“10”に変更し様子を見てください。












(運転再開後も必ずモーター温度に異常がないか確認してください。)

F12設定変更の方法は別紙参照をお願いします。

“OL-1”対処方法(F12のデータを変更する手順)

“OL-1”はモーター過電流・焼損保護を目的としています。

下記の手順でデータを変更してください。

- 1  押す → [0.FnC]表示
- 2  押す → [1.F]表示 プログラムモードに入ります。
- 2  押す → [F00]表示 プログラムモードに入ります。
- 3  押す → [1]表示 [0]の場合は変更しないでOKです。
- 4  (同時に) 押しながら  (データ保護を解除する。) 押す → [0]表示
- 5  押す → データの確定
- 6  押す → [F12]にする
- 7  押す → [5.0]表示
- 8  押す → [10.0]にする
- 9  押す → データの確定 → [F14表示]
- #  (このキーを押さないとデータが確定されません。) 3回押す 運転モードに戻る

***尚、F12のデータ変更後、再度“OL-1”で停止するときは、
運転を停止し弊社まで御連絡下さい。**